

人生100年時代

「学び」は、いつでも、どこでも、誰にでも開かれています。

仕事や子育て、健康や生きがい、地域とのつながり—

学びは、私たちの日々の暮らしの中に息づいています。

変化の時代に、自分らしく、地域とともに生きていくために、

「これからの学び」について考えます。

第一部 本を通して人がつながり、学び合う
「ビブリオバトル(知的書評合戦)」実演

第二部 対談「人生100年時代の学びを考える」



大正大学地域創生学部 教授
東京大学 名誉教授
牧野 篤 氏



前橋市立図書館
新本館アドバイザー会議委員
吉成 信夫 氏

2025.8.8 (金)

午後1時30分～ (開場:午後1時)

中央公民館 3階ホール

(前橋プラザ元気21 前橋市本町2-12-1)

問い合わせ

前橋市教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育係

前橋市本町2-12-1 前橋プラザ元気21 3階

電話：027-210-2198

申込フォーム ▶

2025.8.6 締切



時代の学びを考える

「ビブリオバトル」について

ビブリオバトルは、発表者（バトラー）がおすすめの本を紹介し、観客が一番読みたくなった本を投票で決める書評ゲームです。読書の楽しみを共有する手段として関心を集めており、前橋市内の公民館が主催する講座で取り組んでいます。ビブリオバトルを通して、地域のコミュニケーションを高め、世代を超えた交流の機会とするとともに、自主的・自発的な読書活動につなげることを目的としています。

《進め方》

- ・順番に一人5分間で本を紹介します
- ・各発表後に全員でその発表に関するディスカッションを3分間程度行います
- ・最後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を全員で行い、チャンプ本を決定します



Atsushi Makino

大正大学地域創生学部 教授／東京大学 名誉教授
牧野 篤 氏

愛知県出身。名古屋大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士(教育学)。名古屋大学助教授・教授を経て、2008年より東京大学教授。2013年~2020年、東京大学高齢社会総合研究機構副機構長併任。定年退職後、2025年より現職。中央教育審議会生涯学習分科会委員・副分科会長。中央教育審議会第4期教育振興基本計画部会委員。中央教育審議会生涯学習分科会社会教育人材部会部会長。中央教育審議会社会教育の在り方特別部会副部会長などを務める。

主な著書として、『公民館はどう語られてきたのか—小さな社会をたくさんつくる・1』（東京大学出版会、2018年）、『公民館をどう実践してゆくのか—小さな社会をたくさんつくる・2』（東京大学出版会、2019年）、『公民館を再発明する—小さな社会をたくさんつくる・3』（東京大学出版会、2024年）、『ちいさな社会を愉しく生きる—広い世界から深い宇宙へ—』（さくら舎、2024年）ほか多数。

専門の研究領域は、社会教育学・生涯学習論で、とくにコミュニティの自律と住民の学習とのかかわりに関心がある。



Nobuo Yoshinari

前橋市立図書館新本館アドバイザー会議委員
吉成 信夫 氏

東京都出身。CIコンサルティング会社（東京）などを経て家族と岩手県に移住。石と賢治のミュージアム（一関市）立ち上げに奔走。廃校を活用したサステイナブルスクール「森と風のがっこう」を2001年に開校。2003年から2010年3月まで岩手県立児童館いわて子どもの森初代館長を務めた。その後、2015年から岐阜市立図書館長、2020年ぎふメディアコスモス総合プロデューサーに就任し、2024年4月まで9年間務めた。現在は本市のほか、明石市本のまちづくり推進アドバイザー、中部学院大学兼短期大学部客員教授、東海国立大学機構参与、柳ヶ瀬文化的地層研究会代表として活躍。

著書には、『ハコモノは変えられる！子どものための公共施設改革』（学文社、2011年）、『賑わいを創出する図書館 開館9ヶ月半で来館者100万人を達成した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の冒険』（2025年6月23日 KADOKAWAより発売）などがある。

旅とカフェとムーミンが好き。



第二部 対談

進行・コーディネイト
前橋市教育委員会教育長
吉川 真由美